

## 普及活動情勢報告（令和6年6月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

### 天敵利用技術の向上に向けて ～春野ナス部会現地検討会～



現地検討会の様子

5月20日、JA高知県春野ナス部会が春野町のナス生産者ほ場で現地検討会を開催し、生産者10名が参加しました。普及所は、令和6園芸年度促成米なすのIPM体系実証ほの中間成績を報告しました。

参加者からは、天敵の放飼量やタイミングについての意見や、タバココナジラミの防除に苦慮している意見が出され、今後の害虫対策の課題を確認することができました。

今後も普及所はJAと連携し、IPM実践のための技術の習得を支援します。

### 集落営農組織の思い描く将来に向けて ～都積営農組合のビジョン策定～



ワークショップによる  
ビジョンの作成

5月28日、高知市土佐山都積公民館で、都積営農組合の組合員や関係機関16名が参加し、組合のビジョンについて話し合いをしました。参加者は3班に分かれ、普及所はファシリテーターを務めました。

組合員からは、ユズや四方竹の収穫時期の労働力不足やウサギによる食害の増加など厳しい状況にある中で、親元への新規就農者が増加しているなど明るい意見も聞かれました。

今回、ビジョンを策定する場を設けたことで、集落の課題や将来の展望などを協議することができました。

今後も普及所は、都積営農組合のビジョン作成やその実現に向けて関係機関と連携して支援していきます。

### 中干し・穂肥の時期がやってきました ～春野穂肥現地検討会～



幼穂調査の様子

6月4日、春野町森山で春野穂肥現地検討会が開催され、生産者14名が参加しました。普及所からは今年の生育概況のほか、葉緑素計や葉色板を使い「コシヒカリ」の生育診断を行いながら穂肥施肥についての説明をしました。

会では「ヒビ割れの具合はどれくらいがいいのか」など、中干しの時期や期間についての意見交換が行われました。

今後も普及所は、現地検討会等を通して水稻の安定栽培技術の確立に向けた試験経過等の情報提供を行っていきます。

## 高校生に高知の農業をPR ～春野高校での次世代農業担い手説明会～



高知県の農業について紹介

6月5日、県立春野高校で普及所とJAの担い手担当が農業関係への進学希望者15名を対象に説明会を開催しました。

普及所は高知県農業の概要とIOPの取組について説明し、JAからは高知市春野のキュウリ産地と土佐市のピーマン産地の状況を紹介しました。

参加した生徒からは「教科書より少しリアルな話を聞くことができた。また機会があれば聞きたい」「自分の進路の決定にとってもいい参考になった」などの感想が聞かれました。

普及所は関係機関と連携し、若い世代を対象に新規就農につながるPR活動を継続していきます。